

通信・織りの風・vol-002



NPO 織風会・クラフトヌプリトック



梅雨空が長引く中、明け方と夕暮れにヒグラシ蝉が鳴き初めました。
7/22は暦の上では大暑ですが、関東地方の梅雨明けはまだのようで、
夏空はまだ望めなさそうです。

先の見えない、見通しの立たない感じは、新型コロナウイルスの市中感染とあいまって、
こころが晴れず、知らずしらずに精神的に影響が蓄積されているようです。

利用者の皆さんもスタッフも、少なからずこの状況の中で、なんとか無事に日中活動を営
んでいます。

もう少しで夏休み【8/7～8/16】となります。4月から5月にかけての緊急事態宣言下で
の閉所もあり、お休みが長くなってしまいますが、精神的なケアをそれぞれの状況にあわ
せてとるためにリフレッシュして、通常の作業活動がゆとりをもって出来るようにして行き
たいと考えておりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

さて、本来なら利用者さんに夏の賞与をさしあげたいところではありますが、販売活動も
いっさいできない中で、4月からの授産の収益は3万円弱となっています。

4月からの月々の工賃支払いは毎月3万弱、現在の授産口座の残高は30万弱といった現
状で、かなり厳しい状況です。

利用者さんの励みとしてさしあげたいのはやまやまですが、大変申し訳ありませんが夏の
賞与を今回ばかりは見送らせて頂きたいと思えます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
尚、「パサージュたま」に関しては9月から規模を縮小して実施する方向で検討してい
るようです。7月30日に「パサージュたま」の運営会議が多摩区役所にて行われるよていな
ので、会議に出席して状況を確認してきたいとおもいます。

最後に、コロナウィルス別紙として福祉新聞7月第2週の号の記事を配布いたします。
ちょっとおもしろい、そして考えさせられる記事でしたので、ご参考、後学のために
ご一読して頂けたらとおもいます。